



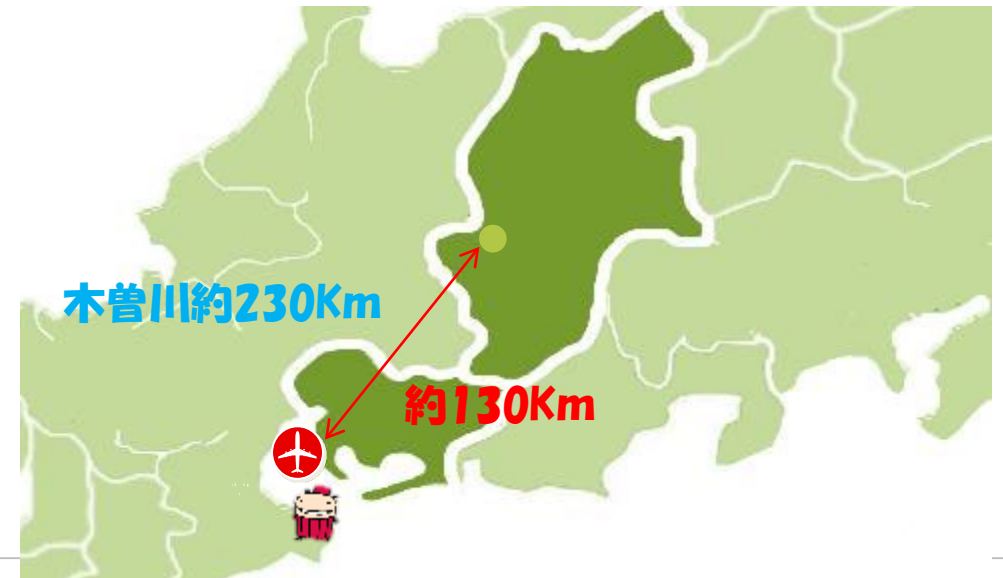
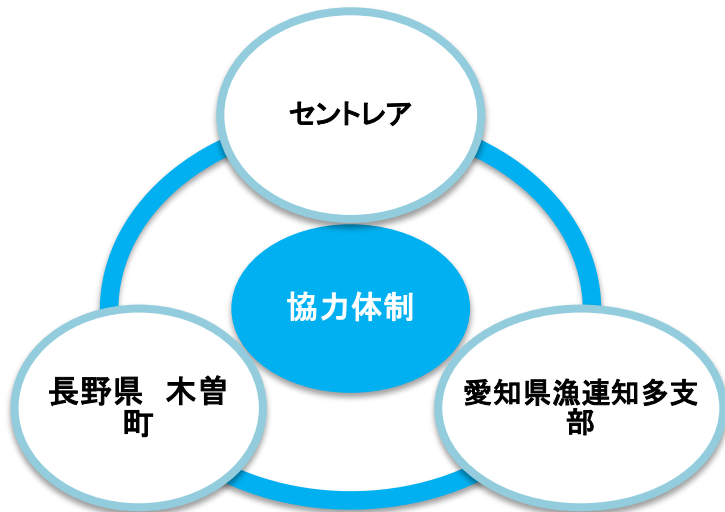
伊勢湾の豊かな海を未来につなぐ取り組みについて



①セントレアの森づくり

- 2022年5月に伊勢湾の豊かな海を未来に繋げるSDGs活動としての“木曽川上下流広域 異業種連携”による「セントレアと愛知の漁民の森」づくりを行いました。
事業パートナー：愛知県漁業協同組合連合会、長野県木曽町役場

- 木曽川源流域に設置した「セントレアと愛知の漁民の森」は中央アルプス木曽駒ヶ岳の西山腹の御嶽山や乗鞍岳をはじめ穂高連峰を望む標高1600mの山林に保水力の高いケヤキの苗50本を植栽しました。
この森づくりは、将来、年間30 t ものCO2の吸収効果のある活動ともいえます。







② 海域環境保全活動

2022年10月16日 海岸漂着物の回収活動（海岸清掃）を通じたマイクロプラスチック問題を考える体験学習として地域と一体なって推進するセントレア周辺海域の環境保全活動を行いました。

「[セントレア プラスチック・スマート宣言](#)」（本年7月）に沿った活動

事業パートナー：鬼崎漁業協同組合、常滑市、NPO 法人伊勢湾フォーラム

参加者：セントレアグループ社員家族・常滑市、鬼崎漁協関係者 計150名程度、

内容：プラスチックごみの回収、漁業者に方による空港周辺の海の話のほか、地引網体験を実施し、身近な海の生態系にも触れる機会も設けました。







③ セントレア周辺海域の今を知る学習会

➤ 目的：SDGs マインドの啓発

空港島周辺の環境保全を地域のパートナーとともに実施することの重要性を理解する機会として、空港周辺の海が豊かな漁場であることを実感し、山と川がもたらす豊かな海づくりとブルーカーボンを見て聞いて触って食して知る。

➤ 事業パートナー：鬼崎漁業協同組合

➤ 対象者：Ⅲ セントレアグループ社員・Ⅳ 2023年度内定者

➤ 内容：毎年11月の半ば頃から翌年3月頃までの間、広大な海苔栽培の漁場となり海面に立ち並ぶ海苔粗朶（のりそだ）や海苔網がその昔からこの地域の風物詩ともなっているセントレア周辺の海。

そこで古くから伝わる海苔栽培は、その成長過程で光合成により二酸化炭素を始め窒素やリンを吸収し新鮮な酸素を放出しており近隣海域の浄化に留まらず、まさに地球環境の保全につながっていることを見て聞いて触れて味わって知る。

